

## 大船渡発

### 仮設住宅の撤去に遅れ



大船渡市は、35か所・1650戸の応急仮設住宅の一部で、予定していた撤去が遅れると発表しました。今年度中に3か所、来年9月から9

か所を撤去予定でしたが、集約先の住宅の確保が難しいことが分かり、2つの中学校の仮設住宅は撤去の開始を遅らせ、来年12月から行うとしています。

(11/25 ニュースエコー)

## 大船渡発

### 「休憩施設」完成

復旧工事が進む大船渡港に貨物の運搬に携わる人たちのための休憩施設が完成しました。

「大船渡港休憩所」は野々田埠頭の近くがあり、室内は仮眠もとれるように一部畳敷きで、トイレも備えています。(11/27 ニュースエコー)



## 大船渡発

### 「吉浜道路」開通

復興道路として整備が進む「三陸沿岸道路」の大船渡市『吉浜道路』が開通しました。区間は三陸町越喜来の三陸インターチェンジと吉浜インターチェンジをつなぐ3.6キロで、国道45号に比べ、所要時間が10分から4分ほどに短縮されます。(11/29 ニュース)



## 陸前高田発

### かさ上げ地の見学会

市街地のかさ上げ工事が進む陸前高田市で、仮設店舗などで営業している市内の店主や事業者およそ40人が中心部の「かさ上げ地」を見学しました。店主たちは工事担当者から工事進捗状況や、建設が予定される商業施設の場所などの説明を受け、店舗再建に向けて具体的なイメージを膨らませ、市街地再生への決意を新たにしていました。(11/30 ニュースエコー)



店舗再建に向けて具体的なイメージを膨らませ、市街地再生への決意を新たにしていました。(11/30 ニュースエコー)

## 盛岡発

### 県町村会が要望書提出



県町村会が復興や来年度の県予算に対する要望をまとめ、会長の民部田幾夫岩手町長が、要望書を達増知事に提出しました。復興関係は57

項目で「被災者の生活再建」や「風評被害対策の財源や支援について県から国への働きかけ」などを要望しています。(11/30 ニュースエコー)

## 大槌発

### 旧役場庁舎解体問題

大槌町の平野公三町長は、大槌町議会の議員全員協議会で「被災した庁舎を年度内に解体する」という最終方針を表明しました。



平野町長は町内外での説明会や意見交換会での議論を踏まえた上で、旧役場庁舎を解体する考えに変わりがない姿勢を示しました。これに対し議員からは「住民コンセンサスが得られるまで議論が尽くされていない」といった声や「災害を伝える具体的な提案が必要」といった意見が出されました。町は12月8日にも全員協議会を開き、再度議論する予定ですが、町議会12月定例会には解体費用を含む補正予算案を提出する方針です。(11/30 ニュースエコー)

## 大船渡発

### さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

今週はFMねまらいんの及川透子さんが、11月29日に開通したばかりの、「三陸道吉浜道路」の開通について伝えてくれました。越喜来～吉浜をつなぐ道路は、3.6キロ。これによって走行時間も、10分から6分短縮して、4分。三陸国道事務所の話では「同規模の道路工事では開通まで15年ほどかかるが、半分の8年で開通となった。一重に、地権者の理解や、住民の皆さんの協力が大きかった。」ということです。東日本大震災では「命の道」として、重要性がより高まった三陸沿岸自動車道ですが、その一つの吉浜道路が開通したことで、より救急搬送や、物流にさらに期待が高まっているとのことでした。(12/2)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中  
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>  
IBC復興支援室事務局 019-623-3122